

■COTECフィロソフィー

経営理念

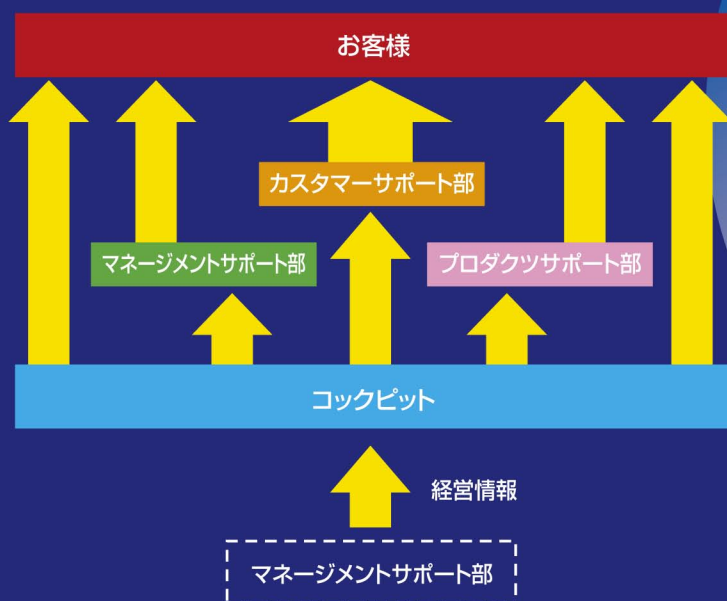
ここに集うすべての人と会社の健全で持続的な成長を通じて、社会の発展に貢献します。

経営の原点

- 感謝と感動を基とする心の経営を行なう。
- 「継続は力なり」を実践します。
- 「人として何が正しいか」を判断の基本とし大善を希求します。

■会社の枠組み

組織図



■COTEC MEN & WOMEN の誓い

会社は…会社は社会的な公器

会社は株主のもの？会社は社員のもの？たしかにそれも正しいのですが、それは一部であってすべてではありません。会社はそれらを越えた公器であり、社会的な使命を持った公的な「場」とであると私たちは考えています。

付加価値は…汗により生み出すもの

心と額に汗して生み出したものだけを付加価値と呼びます。策を弄することではなく、理想を実現しようとする強い思いこそが道を開き、付加価値を生む原動力であると私たちは信じます。

仕事への姿勢は…失敗が大好き

「人生に失敗はない、すべては学ぶ機会」が基底にある考えです。失敗こそ自身を磨く最高チャンスであると考えます。型にはまったことが嫌いなのは創業時からの伝統です。会社は失敗により心を磨くためのいわば道場です。

求められる能力は…感謝と感動の表現力

出会い、同じ時間と空間に生きていること…すべては気の遠くなるような時間と偶然によるもの。生きているというより「生かされている」ことに、そして周りのすべてを生んだ奇跡に感謝と感動ができる感受性を養っています。

営業方針は…売ろうとしないこと

売り手である前に、よき相談相手に徹したい。「再会を待っていた人のように電話に出ていますか？」「大切な人の相談を聞くときのように耳を傾けていますか？」「それはあなたにできる最善ですか？」

商品開発方針は…社会的ニーズも捉えていること

「ニーズに的確に応える」「問題はいつも現場にある」…一流の視点です。しかし目指しているのは超一流です。社会的ニーズにも取り組まなければいけません。それが粉体塗装研究会などを発足させた当社の伝統的精神です。

コスト意識は…常に土俵の真ん中で

ムダなコストはお客様にご負担をかけ、自分たちを土俵際に追い込むもの。火事場のばか力より自由で柔軟な発想を大切にするため、高い「時間当たり付加価値」の意識により、常に土俵の真ん中で戦う心構えを持ちます。

夢の追求は…今から実現すること

夢は条件の付く「こうなったらとしかかる」という願望とは違います。毎日の行動の中にどんな形であれ、夢の実現が含まれていなくてはなりません。「夢のしっぽ」はいつでもつかんでいられるように会社もバックアップします。

給与は…お客様からいただいています

給与の源泉はお客様がお支払いになったものです。会社はそれを仲介し、それに計画性を与えているに過ぎません。期待された以上の何かを私たちがもたらしたとき…お客様は給与の源泉=コスト以上の金額をお支払いになります。

成功は…大きな輪を回し続けます

サイコロの目のように世の中は運に支配され不公平なもの。一時の成功を求め一喜一憂するのではなく、とても大きな輪を回すように日々進化を続けます。私たちにとってそれはつながったものであっても、時を経てご覧になれる方にとっては、不連続な飛躍に見えるかもしれません。成功は追うものではなく、目標への継続した努力が磁石となり、結果的に引き寄せるものだとは私たちは信じます。

■主要な製品・営業内容

圧カシャワーノズル『ノズレス』



エアブローノズルおよび関連商品



塗膜検査測定機器

D 順序管理 トータルサポート (ウェブ・設備)		N 環境温度 露点測定 トータルサポート	
E 付着性試験 トータルサポート		O アプリケーター & チャート	
F 硬度試験 トータルサポート		P 粘度	
G 機械的特性 トータルサポート		Q 塗料の性状 粘度・分散など	ラインアップ 一覧のページ (準備中)
H 板・製品温度管理 トータルサポート		R 光学系検査機器 (色・拡大・特殊照明)	
I 炉内温度測定用 K型プローブ	ラインアップ 一覧のページ (準備中)	S 設備保守の 点検用機器	ラインアップ 一覧のページ (準備中)
J 対象物温度測定	ラインアップ 一覧のページ (準備中)	T 建築用検査機器	
K 飛沫洗浄度 測定・動画など		U ラボ用機器・資材	
L プラスト 積込管理	ラインアップ 一覧のページ (準備中)	V 文献紹介	
M 機械加工 検査・認定 比較見本	ラインアップ 一覧のページ (準備中)	W COTEC GUIDANCE 検査・測定方法 について	
X 計測機器 体験コーナー			

ミッション：-25%

A 前処理パート		フッ素系 除錆防錆剤 クロースドビの 実現を
B 塗装・塗布パート		無機系凝集剤 ブース水処理 コストダウン
C 硬化乾燥パート		ボトルネック 工程からの 脱却手帳
D 廃水処理パート		無機系 廃水処理剤 クロースドビの 実現を

塗膜検査測定トータルサポート

- 検査・測定方法のガイダンス
- 膜厚測定管理トータルサポート
- 付着性測定管理トータルサポート
- CROSS-CUT GUIDE
- 硬度試験器
- 屈曲試験器
- 衝撃試験器
- 炉内温度測定用データロガー
- デジタル結露計
- プラスト測定管理機器
- パーコーター&アプリケーター
- フローカップ(粘度カップ)

ミッション：マイナス25%

- 環境負荷の低減
 - CO₂排出量の削減
 - 所要時間の短縮
 - 占有面積の縮小
 - 製品不良率の抑制
 - 作業者のリスク低減
- をみなさんと考えています

カスタマーサポート

- クラブ・カーヴエックス
炉内温度記録計
- クラブ・デューチェッカー
デジタル式多機能結露計
- クラブ・エルコメーター 456
デジタル膜厚計

各測定器の「よくある質問」、ソフトのアップデート、アフターサービスのご案内をしています。

人と地球にやさしい生産のために

- スプレーノズルトータルサポート
目づまりしないノズレス
Spray Nozzles "NOZZLESS"
- エアノズルトータルサポート
省エネ性・静音性に優れたブローノズル
噴射力・安全性に優れたブローガン
- 水・エア関連技術・商品のご紹介

電気消費量を
減らしています。
希望の光が

Toward the
50th
anniversary

情報発信コーナー

- コーテックニュース
定期的に塗装・コーティング関連情報を発信
- コーテック工房だより
「見て・触って・試して」がコンセプトです
- コーテックビジネスレター
仕事に役立つ「学び」をご一緒にいかがですか
- セールスインフォメーション
新製品・お得な情報のご案内です
- お役立ちリンク集
私の情報源・元気源です

■社会の中のコーテックとして

●情報発信

コーテックニュース

塗装・コーティングの関連の技術・情報を発信しています。

コーテックビジネスレター

ビジネスやマネージメントについてみなさんといっしょに学んでいます。

コーテックセールスインフォメーション

新商品について、その特徴やお得な情報をお知らせしています。

●社会活動

『からふる』の活動を応援しています

障がい児自立支援団体『からふる』の活動を応援しています。ホームページのイラストなどにも採用させていただいています。

●Culture

Web上のミュージアムを創りました

『からふる』のアートをはじめ、楽しい作品をご紹介します。充実していくC-C-Townコーナーの今後にどうぞご期待ください。

●3.11

All for one, One for all

2011,3,11より種々の活動を始めています。詳しい内容はホームページ等でご案内をしています。

当社は東京の中心部にあります。2階にわたる長く複雑な階層によって、欄に合ったファブリスはそこそこ狭く落ち、地下を流れる神田川の水は左右にゆすられた床面の中を大まかに流れていました。いつの日か知らない地震や暴風雨で、階層を食った人で外壁の歩道はまるでランニングのホームのようでした。人は流石にコンクリートで固まらず歩道はパンをこことく飲み込み、やがてペトボトルの水と電池が消費しました。サイクルショップでは自転車も壊れ、戦艦ではスノーカーやビールの低い靴を穿ける人であふれていました。しかし、このときを照らしていた電気が、福島県の原子力発電所がすでに津波により冷却機能を失った後のものであることをその人達が知るのはずっと後のことです。

2011年3月11日、それは今後1000年近く歴史から消えることのない日になりそうです。

つながらなくなった携帯を手に家族を案じながら家路を急ぐ人々にもいつとも同じように涙が流れます。そのころ私たちは確かに何かを失ってしまったことの中で感じていました。いえ20世紀の輝きが完全に消えていたことに私たちは改めて気づいたのかも知れません。

私たちが義捐金を送りました。福島の方々に届いたそうです。

私たちがミルクなどの支援物資を送りました。岩手の方々に届いたそうです。

復興を復興につなげるために、私たちにできることは何なのでしょう？

復興には迅速さと応急性が求められます。しかし、復興には継続性と足腰の強さが求められます。被災した方々が復興されるためには、被災しなかった人たちがその間の経済を支えていかなくてはなりません。あと10%、いえあと20%私たちがいつにもまして力強くならなくてはなりません。

私たちは、私たちにできること、私たちがだからできることに、ひたむきにありたいと思います。

今一度屈強さを高める決心を胸に

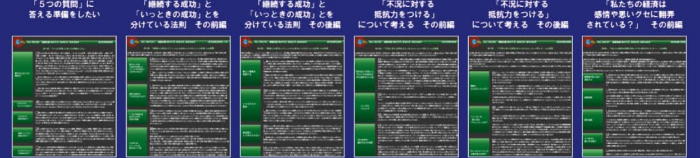
がんばれ、東日本…いいえ、私たちがこころがばります。ともにあるために。

<理工出版社刊「塗装技術」50周年記念号に掲載したものです>

●www.cotec.co.jp

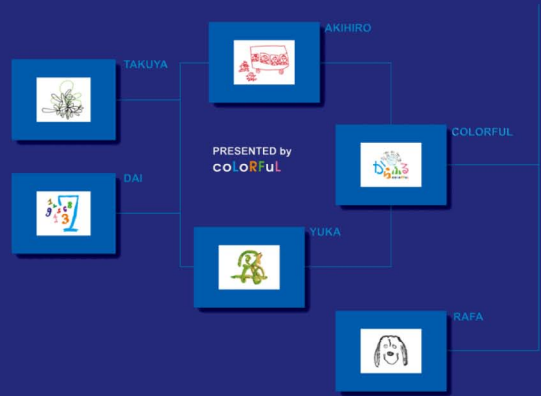
平均23,600件/日への感謝と責任

私たちのサイトには1日に23,600件のアクセスをいただいています(2011年7月の平日の平均)。たいへん専門的で限られた業界のためのホームページではありますが、多くの方々に活用していただいています。待りに添えるようますます拡充させていくことをお約束いたします。



< WWW.C-C-TOWN.COM/INDEX

< ART/INDEX



YUKA作品展の開催にあたって
障がい児自立支援グループ『からふる』のご厚情により数々の感性豊かな作品をみなさまにご覧いただく機会を得ました。改めて『からふる』の活動にご高配に感謝を申し上げます。

YUKAのプロフィール(1992年生まれ)
水彩絵の具が得意で、インパクトのある抽象的な作風が魅力。
YUKAの作品と向き合ふと、見る者は心の在り方を問われているようだ。
作風の無い絵にファンが多い。

<お願い>
展示は対面型となっております。
製作陣により撮影・装写および
無断での転用をご遠慮いただいております。
館長

世界の変化
となりの娘が海外旅行から帰ってきた。

あなたがそうして日向ぼっこをしている間にも世界はどんどん変わっているよ。少しは世の中を変化を知らとうなりの？

僕のこの世界も、毎日のようにがらんと変わってんだだけだ。たとえ、昨日の朝、目を覚ましたら、あたりはきんもくせいのように変わっていった。

オフィスの照明用電気消費量を70%削減して営業しています。すべての方々に希望の光が届くことを祈っています。コーテック一岡

Toward the
50th
anniversary

PROFILE

社名(商号) Company Name
 コーテック株式会社 COTEC CORPORATION

設立 Company Name
 設立：1968年4月1日 Apr. 1, 1968
 (創業：1967年8月1日)

所在地 Locations of Office
 〒102-0072 4th Fl., Yamagi Bldg.,
 東京都千代田区飯田橋3-11-22 3-11-22, Iidabashi,
 ヤマギビル4F Chiyoda-ku, Tokyo
102-0072 JAPAN

TEL: 03(6913)6528(代) TEL: 81-3-6913-6528
 FAX: 03(6913)6529 FAX: 81-3-6913-6529
 URL: <http://www.cotec.co.jp> URL: <http://www.cotec.co.jp>
 e-mail: info@cotec.co.jp e-mail: info@cotec.co.jp

代表者(代表取締役) Representative Corporate
 楯 恒夫 Tsuneo Tate

資本金
 1000万円

HISTORY

1967年
 前身である「総合塗装技術センター」を磯崎忠男が創業。
 同センターは初期ベンチャービジネスのモデルとして注目される。
 創業者はベンチャーキャピタルの設立にも尽力し、その後の創業者の
 支援・育成にも努める。

1968年
 工業塗装海外視察を開始(第1回は米国、その後も欧州を含めて粉体
 塗装を中心に視察)。毎年定期的を実施し、計30回のべ700余名の参
 加を得る。

1975年
 「粉体塗装技術」を開催(以後毎年隔月に開催、会員企業は230社)。
 工業塗装の抵公害・無公害化を研究する場を提供し、業界でいち早く
 普及に努める。

1983年
 コーテック株式会社に社名変更。COTECは、COating TEChnology
 とCOordinating TEChnology を意味しています。

2002年
 新宿より新大久保に移転。

2003年
 代表取締役に楯恒夫が就任。

2004年
 新大久保より渋谷に移転。

2008年
 渋谷より飯田橋に移転。

私たちは初心を忘れません

since 1967
 コーテック設立
 ベンチャー企業の先駆けとなる



since 1968
 工業塗装海外視察を始める



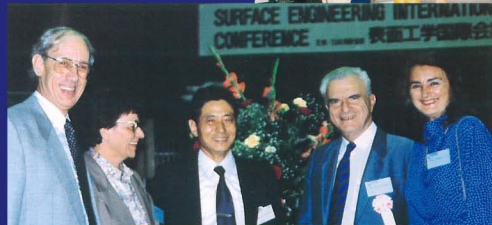
since 1975
 粉体塗装研究会を発足



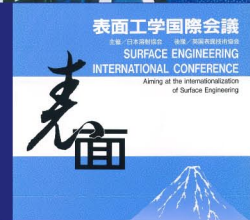
多くのセミナーや
 工場見学を企画



since 1975
 ベンチャー企業育成のための
 ベンチャーズグループ
 発足に参画



at 1988
 表面工学国際会議事務局を
 務める



現場の困ったを
 解決するという
 商品開発動機は
 今も変わりません